

## 平成28年第6回袖ヶ浦市教育委員会臨時会議事録

- 1 開催日時 平成28年5月16日(月) 午後3時55分 開会  
午後4時05分 閉会

- 2 開催場所 木更津富士屋 季眺 萩の間

- 3 出席者

教育長	川島 悟	委員	多田 正行
委員	福島 友子	委員	中村 伸子

(欠席委員) 教育長職務代理者 山口 修

- 4 出席職員

教育部長	井口 崇	教育部次長 (兼教育総務課長)	森田 泰弘
教育部参事 (兼学校教育課長)	今宮 公雄	学校教育課副参事	井関 徹太郎
教育総務課副参事	溝口 輝	学校教育課副課長	泉水 雄一郎
教育総務課班長	葛田 陽子		

- 5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

- 6 議 題

日程第1 今回議事録署名人の選出について

日程第2

議案第1号 「袖ヶ浦市の幼児教育・保育の取組み」市立幼稚園の統合時期  
の変更について

- 7 議 事

日程第1 今回会議録署名人の選出について

教育長 中村委員を指名した。

## 日程第2 議案

### 議案第1号 「袖ヶ浦市幼児教育・保育の取組み」市立幼稚園の統合時期の変更について

教育長 議案第1号について事務局の説明を求める。

教育部次長（教育総務課長）

議案第1号は、「袖ヶ浦市の幼児教育・保育の取組み」における市立幼稚園の統合時期について当初の予定を変更したいので、袖ヶ浦市教育委員会行政組織規則第5条第22号の規定により、袖ヶ浦市教育委員会の議決を求めるものである。

提案理由は、袖ヶ浦市立幼稚園の統合時期について、平成30年度から平成31年度にしようとするものである。

当初、統合時期を平成30年度としていたが、統合準備のために、平成29年度に定員を減らす必要があること、当初の見込みでは、入園予定者の推計が定員減の105名以内の見込みであったが総務省の人口移動報告等によって105名を超える可能性が出てきたこと、及び定員を超えた場合は抽選になり、選から漏れた方の選択肢が非常に狭まってしまうということから統合時期の年度を1年先送りし、平成31年度にしようとするものである。

平成31年度にすることにより、私立幼稚園を選択する場合において3年保育が可能になること、平成29年度に入園する園児は、定員が減らずに両園で卒園できること、今後開設する認定こども園は、平成30年度開設予定となっているがこちらの2年保育も選択肢となり得ることから、平成30年度の統合では、定員を超えた場合に選択肢が非常に狭まってしまうが、選択肢を確保する期間を長くするために、統合の時期を1年先送りすることにより円滑な移行を目指そうとするものである。

教育長 議案第1号について委員に質疑を求める。

教育部次長（教育総務課長）

補足説明する。

山口教育長職務代理者においては、本日欠席だが、資料を確認いただき、「1年先送りすることについて了承する」との言葉をいただいている。

福島委員 先に延ばすことによって選択肢が増えるということで、対象となる方

にとっては納得していただける案であると考えてる。

中村委員      1年先延ばししても、これから色々な準備がある。理解を得るためには、様々な手立てを重ねる必要がある。定員超過の予想と、理解をしていただくためにも良い案であると考えてる。

(その他質疑なし)

教育長      議案第1号について賛成の挙手を求める。

教育長      議案第1号は賛成全員で承認された。